



◆大阪子どもの貧困アクショングループとは？

- 大阪母子の象徴的な2事件、2010年「西区2児放置死事件」、2013年5月24日の「北区母子変死事件」を受け「悲劇を繰り返したくない！」と子ども支援関係者を中心に有志が集まり団体を立ち上げました
- 「まずは、ごはん！」子どもの「今」をサポートします。セーフティネットから抜け落ちる親子とつながり（アウトリーチ）、公・民のセーフティネットにつなげ（コーディネート）、生活を安定させるためサポートします
- 短期的な緊急介入、中期的なモデル事業「養育の社会化」、長期的な政策提言と活動を展開しています

日本の子どもの貧困 ※相対的貧困率とは、家庭の所得が、標準的所得の半分以上になる世帯の割合を指す
17歳以下の子どもの貧困率は16.3%（2012年）に達し、1986年の調査開始以来、過去最悪
※全体の貧困率16.1%を上回り、3年前より0.6%悪化

母子世帯の貧困

ひとり親世帯の貧困率54.6%と突出している。3年前より10万以上増加（出典）2013年国民生活基礎調査 厚労省

- ## ◆ 目的
- 私たちの目的は子どもの貧困をなくすこと。見えにくい子どもの貧困を明らかにするために子どもや家庭の生活を調査し、子ども・親・周りのおとなをサポートしていきます

◆活動 1：短期 緊急介入 ※みつける→ほぐす(問題・心)→つなげる

①しらべる <調査>

- ・2013年7月～2014年12月「シングルマザーたち100人がしんどい状況について話しました」
- ・2015年度10月～ 「子どもの暮らしの調査(大阪市生野区)/アンケート&ヒアリング

②みつける <アウトリーチ※>

- ・夜回り/天神筋橋商店街、生野区
- ・その他、調査、メディア、広告...

※英語で手を伸ばすという意味。本来サポートが必要な人に必要なサポートが繋がっていない現状に対し、支援者側が積極的に手を差し伸べること

「助けて！」って言ってもええねんで！

③つなげる <相談・コーディネート> (面談&メール、SNSなど活用)

- ・行政・民間サービスにつなぐ、窓口への同行

④ほぐす <介入・直接支援> (母子サポート) ※心・問題を解きほぐす&一緒に乗り越える

- ・「CPAO(シーぱお)クラブ」

親子の居場所（ごはん会・様々な部活・イベント・ツアーなど）、様々な人との出会い・機会提供

◆活動 2：中期 モデル事業「養育の社会化」「まずはごはん！」からつながり支えあうコミュニティづくり

- ・CPAOくらぶ「一緒に面白いことをしよう！キーワード：わくわく♪」@大阪市生野区・丹波市
- ・月1お父さん「民間の養育里親」@大阪府下



◇他団体との連携

- ・彼岸寺「お寺おやつクラブ(月1)」/食糧支援「おそなえをおすそわけ」
-子どもの居場所、学習支援、シングルマザー支援団体など含め、順次拡大
- ・大阪社会保障協議会/協働・大阪弁護士会/共催
「シングルマザーサポートブック」・「シングルマザーとこどものサポーター養成講座」

◆活動 3：長期 政策提言

- ・2014年8月 子どもの貧困アクション関西 「自治体で国の対策よりもさらに良い施策を！」
- ・2014年12月 衆議院選を前に「子どもの貧困解決に向けた共同声明」を
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと発表
- ・2015年7月子どもの貧困対策 政策パッケージに関する提言をあすのばと提言
- ・2016年1月国連で開催される「女性差別撤廃委員会」に全国精神病患者集団とカウンターレポート提出・・・

<お問い合わせ先> 大阪子どもの貧困アクショングループ：徳丸

事務所：〒544-0025 大阪府大阪市生野区生野東3-13-3 / 松野農園内

HP：<http://cpao0524.org> e-mail：info@cpao0524.org Facebook：<http://www.facebook.com/cpao0524>